

Referee DUTY (20180627)

■九州バスケットボール宣言■

我々は、あらゆる暴力の根絶はもちろんのこと、人間性の尊重そしてフェアプレーの精神に基づき、指導者・選手・審判・観客が一体となって、真の強さを求めて行くことを宣言します。

1. 割当通知

1) 割当確認

- ・遅くとも2週間前を目処に割当通知をする予定です。
- ・通知後、速やかに割当責任者に審判可能か不可能かの確認メールを返信する。
 - *返信がない場合は不可能として、割当を変更し、今後の割当や更新を認めない。
 - *急な体調不良による者は速やかに連絡をする。

2. ゲーム前

1) 会場到着

- ・担当ゲームの60分前まで
 - *遅れる場合は、必ず連絡すること(意図して遅れる場合は今後の割当や更新は認めない)
 - *委員長より集合の指示がある場合はそれに従うこと
 - *帯同審判の場合は、ゲーム後速やかに審判業務に移ること

2) プレゲームカンファレンス

- ・クルーチーフを中心に行う。メカニクスの共通理解、ルールの確認、担当チームの分析や勝敗(得失点)などの分析を行う。*他の方は審判控室で配慮すること

3) コートインスペクション

- ・ゲーム開始10分前(前ゲーム終了後)に行う。
- ・ボール、TO器具、時計、リング、ブザー、ベンチエリア、ショットクロックの位置などの確認
- ・TO、コミッショナーなどと確認
- ・ゲーム進行の確認(紹介アナウンスなど)

4) ゲーム前、ハーフタイム中、ゲーム後

- ・選手・コーチ・チーム関係者との接触を極力避ける。
(ゲームの前後は挨拶程度にとどめること)

3. ゲーム中

1) ゲーム開始時刻

- ・クルーは、ゲーム開始10分前(前ゲーム終了後)にコートに出ること。

2) タイムアウト間

- ・ゲームが再開されるコート側のオポジットサイド(コーナー付近)またはゴール下(コーナー付近に得点表示機器がある場合)で待機すること。(観客がコートサイドにいる場合)

3) ハーフタイム

- ・クルーは5分前を目処にオポジットサイドで待機する。
- ・審判の判定に対する質問に対して基本的にクルーは対応しないが、必要なコミュニケーションの場合、両チームに不公平な状況にならないように配慮し対応する場合もある。
ただし、長く話をするべきではない。

4) ゲーム終了

- ・ゲーム終了間際のプレイに対しては、クルーとして細心の注意を払うこと。
- ・ゲーム後のチームからの質問等について、確認程度の簡単な内容、また、審判員と共有すべき事柄であった場合、審判割当者か県審判委員長が対応する。

5) その他

- ・クルーメンバーの体調確認や安全管理について、クルーチーフを中心に相互確認をすること。
- ・ゲーム中に怪我、体調不良の場合は、交代を遠慮なく申し出ること。
- * 周りの方で審判の異変に気づいた方は、遠慮なく担当審判と確認して、会場の審判責任者へ報告し、交代を進めてください。審判責任者はいない場合も交代を進めて構いません。

4. ゲーム後

1) ゲーム終了後のミーティング

- ・担当のインストラクターを中心に行うこと。
- ・インストラクターが配置されていない場合は、クルーチーフを中心に行うこと。
- ・審判研修のために、他の審判の聴講（質問等可能）は認める。
- * 自己の審判技術向上のために IGR（自己分析：形式自由）を書くことを勧める。
- * IGRを県審判委員長に見ていただくことも可能である。遠慮なく提出してください。

2) ゲーム終了後の報告について

○緊急時（電話報告）

- ・各ゲームにおいて暴力・危険行為や懲罰に抵触すると認識できる内容、通常とは異なる事象、各方面から問い合わせがあると認識できるケースが生じた場合は、クルーチーフは、ゲーム後速やかに割当責任者が県審判委員長へその状況を報告すること。
- 例：ディスクオフライン（DQ）、ファイティング、また通常では起こらないケースや各チームからすぐに問い合わせがくると考えられるミス（処置の間違い）等

○共有事項の確認（ショートメールまたはメール、電話も可能）

- ・全体で共有が必要だと思われるケースや県審判委員会への質問のあるケース・その他、報告や共有が必要だと感じたケースについても、割当責任者が県審判委員長へ報告する。
* ルール・メカニクス・プレイコーリングガイドラインなど
- ・共有に関しては、県審判委員長が県審判委員会ホームページまたは TeamJBA の一斉メールで回答する。

○報告先

- ・ **割当責任者がいない場合は県審判委員長：森田（TEL 090-4517-8551）**
- ・ **割当責任者は、必ず県審判委員長に報告すること。**
- ・ 県審判委員長が、担当審判に対して聞き取り調査を行う場合もある。
- ・ 県審判委員長は、県協会規律委員会や競技責任者に報告する義務がある。

5. その他

1) クルー・ミーティング（ゲーム後）

- ・スカウティングや（あれば映像確認）、基本的なメカやマニュアル、ケースなどの共通理解を行うようにしてください。判定だけのミーティングにならないようにしてください。

2) IGR（Individual Game Report 自己分析レポート）

- ・あくまでも、審判技術向上のための1つの取り組みです。強制ではありません。上級審判を目指す場合には取り組むことを勧める。
- ・各自、映像を見返しながらゲームという商品、審判としての自分という商品価値を高めるために取り組むものです。
- ・気になったケース（プラス面も修正が必要な点も）をそのケースが起きた時間と共に入力し、より具体的に取り組み、課題を見つけることが成長への一番の近道だと認識して取り組んでみてください。特にプレゼンテーションは必ず見直すようにしてください。

GameControl	①的確な判定 ②Communication ③難しケースの対応 ④ルールの正しい理解と適用 ⑤カリスマ・クルーチーフメンタリティ
Presentation	①走る姿・歩く姿・立ち姿 ②毅然さ・立ち振る舞い・自身 ③声の使い方
Mechanics	①プライマリーの理解 ②TOControl ③クロックControl ④EOG・EOP ⑤レフリーD ⑥トレイル ⑦センター ⑧リード
Guideline	①TF・UF・DQ ②インパクト ③フェイク ④ヴァイオレーション ⑤スクリーン ⑥FOM
Teamwork	①ゲームの準備・PGC ②クルーへの配慮・リスペクト ③行動規範・クルーワーク